

少女新聞

発行者
澁川女子高校
新聞委員会
(1-3)

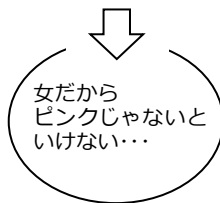
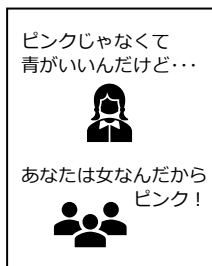
発行日
R7年1月21日

ジェンダーから多文化共生へ

ジェンダーとは

「これが男らしい」、「これが女らしい」と社会的・文化的につくられた性別に関する考え方です。

例えば



「女だから」、「男だから」など男女の役割に固定的な観念を持つことや、そのため社会的な評価や扱いが差別的になることを指す言葉を「ジェンダーバイアス」と言います。

- ・言葉による固定観念
- ・色・形によるイメージなど

ジェンダーの現状



ジェンダーの話題になると、LGBTQが話題に登ります。LGBTQとは、「L (Lesbian) 女性の同性愛者」、「G (Gay) 男性の同性愛者」、「B (Bisexual)」、「T (Transgender) 身体的性と性自認が異なる人」、「Q (Queer/Questioning) 異性愛者や前述以外の性的指向・性自認の人(自分自身の性自認・指向がはっきりしていない人)」を指す。また、「A (Asexual) 他者に恋愛感情を感じない人」や「I (Asexual) 他者に対して性的欲求をほとんど、または一切感じない」などというものもあります。

ジェンダーに対する人々の理解は少しずつですが、年々進んでいるとされています。しかし、問題が起ってしまいうケースも珍しくありません。

アウトイング (Outing) というものをご存じですか。これはカミングアウト (Coming Out) とは違い、第三者が本人の了解を得ずに、公にしている性的指向や性同一性等の秘密を暴露してしまうことです。それによって傷つく人もいられるかもしれません。また、日本においては、同性同士の結婚が認められていないということもあります。

このように、現在でもジェンダーに対する問題は多く残されています。「多様性をどうしても認められない。嫌だ。」と思う人もいます。

ジェンダーレス (男女の区別をなくす取り組み)

○ 制服



澁川女子高校においてもネクタイやスラックスが導入され、リボン、スカートと選べるようになっています。

○ スポーツウェア



PR TIMES フットマーク株式会社
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000088.000012937.html>
(2025年1月20日)

学校用の水着もジェンダーレス化が進んでいます。性別・体のラインが目立たないような素材・デザインに変更されています。

高校などの教育機関や職場において、男女関係なく自由な服装を選択できたり、性別の分かる特徴的な部位を目立たなくするなどの取り組みが行われています。

「多様性」を認められないことも悪いことではないのです。それよりも、自分の価値観を他者に押し付けることの方があってはならないのです。

世界のジェンダー事情



現在、世界中でジェンダー平等へ向けて様々な活動が行われています。そのうちのひとつを紹介いたします。

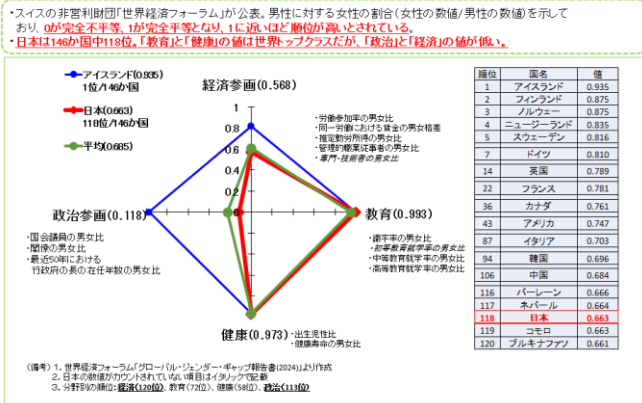
ジェンダーギャップ指数について

ジェンダーギャップ指数とは、簡単に言うと男女間の格差を数値化したものです。男女間の格差についての具体例として、就職のしやすさや賃金の差、識字率・平均寿命の差などがあげられます。

ジェンダーギャップ指数を基にしたランキングでは世界で最も平等な国はアイスランドで (0.935) です。それに対して日本は

0.663 の118位と低いです。上のグラフを見ると、特に政治参画、経済の項目が低いのが分かります。私たちは、この現状を客観的に把握して改善するために何が必要なのかを考えていかなければなりません。

ジェンダー・ギャップ指数(GGI) 2024年



男女共同参画局
https://www.gender.go.jp/international/int_syogaikoku/int_shihyo/index.html (2025年1月20日)

《終わりに》

今回、私たちは道徳という観点から「ジェンダー」という問題について取り上げました。「ジェンダー」という言葉を聞くのと難しくとらえてしまいがちですが、自分達に関心を持って一つ一つ調べ、正しい知識を学び、身に付けることが大切だということを再認識できました。今後も、「ジェンダー」に限らず、様々なことに関心を持ち調査していきたいと思えます。